

牛久：学校周辺に見る自然

第47号 牛久自然観察の森

2016年11月19日発行

＜ 秋の日に、牛久自然観察の森を歩く ④クモ、その他の動物 ＞

秋の牛久自然観察の森、今回はクモやその他の動物たちです。



地面から背^せたけをこえる高さまではられたジョロウグモのあみ(左)と、ナツアカネ^{ほしよくちゅう}を捕食するめず(中)。1時間後には尾の方から吸っていた(右)。

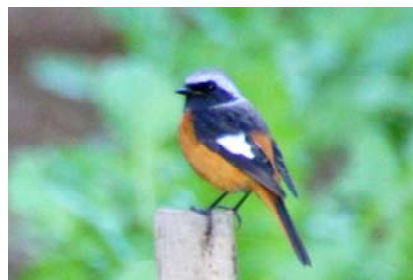
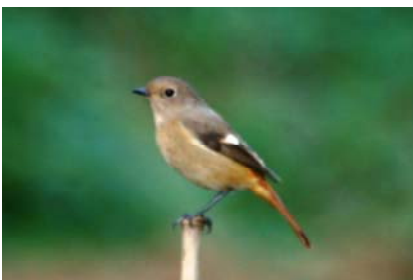


花にまぎれるワカバグモのおす(左)と、松葉のようなオナガグモ(右)の入り口にも…と思ったら、こちらはおしべでした。一見、松葉のように見えるオナガグモもいました。

その他、アマガエルがまだ見られました。いつから冬眠^{とうみん}に入るのでしよう。ミシシippアカミミガメも、岩の上でひなたぼっこ？水面に反射^{はんしゃ}して赤いもようも確認^{かくにん}できました。



そろそろ帰ろうと思ったころ、ふゆどり^{ふゆどり}冬鳥のジョウビタキがつかいであらわ^{あらわ}現れました。昨年たくさん見られましたが、今年は少し遅い^{おそ}気がします。【理科支援員：宮内】



よたよた歩くアマガエル(左)とひなたぼっこするミシシippアカミミガメ(中)、ジョウビタキのおすとめす(左がめす)。